

2014年5月14日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年18号)

ワールドカップ開催反対する抗議デモの計画について

ワールドカップ開催を約1ヶ月後に控え、5月15日(木)は「ワールドカップ開催に反対する国際デー」とされ、ブラジル国内でもワールドカップ開催12都市のほか、代表チームキャンプ予定地等でワールドカップ開催に反対する人々による抗議デモが計画されています。

5月14日15:00時点で、リオ市内での具体的な抗議時間、場所等はインターネット等でも明らかになっていませんが、ベロオリゾンテでは、15日午後5時から、中心部で大規模デモが行われることとなっており、FACE BOOK上で広く参加者を募っています。

また、それとは別に5月23日(金)、サンパウロとリオデジャネイロで、同じくワールドカップ開催を反対する同時デモの実施が計画されています。これについても主催者はFACE BOOK上で参加者を募っており、14日15:00時点で、すでに6,000人近くが参加を表明しています。

ソーシャルメディア上で参加を表明した人々全てが実際にデモに参加することはありませんが、昨年のコンフェデレーション杯開催時の大規模デモは約100万人という空前の規模に発展した経緯もあり、今後の推移に注意が必要です。

当日はセントロ地区への不要不急の外出を控え、もしやむを得ず出かけるのであれば、テレビやインターネットで最新の情報を入手して警戒してください。また、デモが開催されるような様子(広場等公共スペースにプラカードを持った人々が集まり始める等)を察知した際は直ちに安全な場所に退避するようお願いします。